都市経済論

担当者 小藤　弘樹

開講時期 前期　　単　位 2

●講義の概要
経済学の視点から、都市の形成と発展の要因および都市の土地利用（空間的構造）の決定メカニズムについて概説する。
次いで、都市で生じている様々な問題を経済学的に分析し、それに対する政策の在り方について考える。

●講義の到達目標
都市問題を経済学的に分析し、それに対する政策の在り方について考える力を修得する。

●講義計画
第１回：はじめに：都市の概念
第２回：日本の地域構造
第３回：地域所得の概念
第４回：地域所得の決定
第５回：都市形成の要因
第６回：都市システム
第７回：都市の発展と衰退
第８回：都市の土地利用構造（1）　企業の立地
第９回：都市の土地利用構造（2）　住宅の立地
第10回：都市の土地問題（1）　地代と地価の決定
第11回：都市の土地問題（2）　土地と課税
第12回：都市の住宅問題
第13回：都市の交通問題
第14回：都市の公害問題
第15回：都市の財政問題

●成績評価基準と方法
〈評価基準〉
都市の形成と発展の要因について、経済学的視点から説明できる。
都市の土地利用（空間的構造）について、経済学的視点から説明できる。
都市問題とその是正策について、経済学的視点から説明できる。
〈方法〉
講義内容に対する理解を深め、その理解度を確認できるように、毎回の講義で提示される課題について、報告を求める。（評価割合：70％）
学習成果全般について目標達成度を評価するために、講義計画中のテーマから選んだ１つの題材についてのレポート提出を求める。（評価割合：30％）

●テキスト又は参考文献
とくに指定しないが、第１回目の講義でいくつかの文献を紹介する。
―参考文献―
・山田浩之・徳岡一幸編 ISBN9784641165229『地域経済学入門〔第３版〕』有斐閣　2018年　2,500円
・黒田達朗・田渕隆俊・中村良平 ISBN9784641183711『都市と地域の経済学〔新版〕』有斐閣　2008年　2,500円
・宮尾尊弘 ISBN9784535550209『現代都市経済学』日本評論社　1996年　2,700円
・佐々木公明・文世一 ISBN4641120951『都市経済学の基礎』有斐閣　2000年　2,100円
・杉浦章介 ISBN9784000260367『都市経済論』岩波書店　2003年　2,640円
・高橋孝明 ISBN9784641184060『都市経済学』有斐閣　2012年　2,500円
・金本良嗣・藤原徹 ISBN9784492813034『都市経済学第２版』東洋経済新報社　2016年　3,520円（税込）

●受講上の留意点
応用ミクロ経済学としての性格が濃いので、「ミクロ経済学」の知識を持っていることが望ましい。
毎回、次回学習範囲を紹介するので、事前学習を求める。